

技術士 2 次試験に合格して



佐々木 裕子

(ささき ゆうこ)

勤務先

伊藤組土建株式会社

土木本部 技術部 技術管理課

〒060-8554 札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1 番地

TEL 011-241-8354 FAX 011-251-4759

E-mail yu-sasaki@itogumi.co.jp

■ 専門：建設部門(建設環境)

自己紹介

私は東京都東村山市出身(1973 年生まれ)で、都立高校から信州大学農学部森林科学科に進学、卒業しました。その後、東京の造園施工会社で緑地や樹木の維持管理業務を担当し、結婚のため退職、道民となりました。以降の職務で土木の世界に入りましたが、出産で離職後は 3 人の子の育児に 10 年ほど専念していました。

社会人として再スタートしてからは何度かの転職を経て現職となります。勤務 5 年目のこの 4 月から技術提案書作成業務に携わっています。

この機会に二次試験合格までを振り返ってみたいと思います。イレギュラーな事例ですが、どなたかのお役に立てれば幸いです。

一次試験・動機と転職

再スタートした後、社会で働き続けるために、自分に出来ることで世の中の役に立つこと、自分の価値を高められることを探していました。その中で技術士という資格の存在を知り、一次試験の受験が自分にも可能であったことから、挑戦する姿勢が社会人として評価されるのでは、と考え出願しました。

27 年度に森林部門で受験してギリギリで合格し、一次試験合格者祝賀会に参加することになりました。当時無職だった私は、檀上でのスピーチで就職の意欲をアピールし、自作の名刺でお会いした方に挨拶をして回りました。この時の出会いがきっかけで現在の会社に入社しています。人生、何が起こるかわからないものです。

二次試験・筆記試験

土木部の職員として現在の会社に入社後、いくつかの工事現場を経験する中で令和元年度の二次試験への挑戦を決めましたが、受験部門・科目の選択に悩みました。

これに対し「これまでの経歴と適性を活かすと良

い」とアドバイスを受け、大学での専攻や造園施工会社での経験など緑に関する資質と、現職の土木工事での経験を併せて考え、建設環境での受験を決めました。どちらも中途半端な自分の存在意義が鮮明になり、このことだけでも挑戦した意味があると感じられました。

出願に当たり、業務経歴書は社内外の指導・セミナーで何度も添削を受け、全てが記述方式となった筆記試験対策は、合格した方の再現答案を自己経験に置き換え作成練習をすることと、昼休みや通勤時間、家事の合間に過去問や国土交通白書に目を通すことを主としました。

筆記試験では生産性の向上、生物多様性など、自分なりに思うところのあるテーマについて出題されたことが幸運でした。中でも家庭・育児の渦中にある立場で考察できたこと、グリーンインフラという概念に出会っていたことが活きたと感じています。

結果は合格でした。心の底から驚き、そして慌てて準備に取り掛かりました。

二次試験・口頭試験

模擬口頭試験は社内外で 5 回受け、緊張すること自体に慣れていきましたが、回答は試験のために滞在したホテルで最後まで悩みながらまとめました。

終わってみれば、業務経歴票に記載した小論文の内容には一切触れられず、「あなたのこれまでの、この 8 年 2 カ月の経歴の中で」という言葉から始まる質問が象徴的な、勉強・準備を含めたその時までの自身を問われるような試験でした。

一次試験の祝賀会での出会いや、様々な方のサポートを頂いてここに至ったことを思うと関わって下さった皆様への感謝の念が尽きません。

未熟さを忘れず、これからも自己研鑽を続けて世の中の役に立ち、働いていく所存です。